

園芸用殺菌剤

時代をこえて愛され続ける保護殺菌剤



総合版

ジマンダイセン水和剤

TM

3つのポイントが
自慢です。

① 幅広い病害を予防

りんごで10病害、みかんでは8病害に適用。
野菜でも広範な病害防除に役立ちます。

② 優れた製剤技術

葉への付着と耐雨性に優れた製剤粒子構造のため、効果の持続性に差が現れます。

③ 多彩な作物に登録

広範な作物に登録があり、果樹や多種類の野菜などで幅広く使用されています。

保護力がジマンです。



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標



Dow AgroSciences

Solutions for the Growing World

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期*	総使用回数**	
みかん	黒点病	400~800	200~700	30日	4回	
	黄斑病、小黑点病	600~800				
	ミカンサビダニ	1,000				
	そうか病	400				
かんきつ (みかんを除く)	褐色腐敗病、そばかす病、赤衣病、 チャノキイロアザミウマ、炭そ病(さび果)	400~600		90日		
	黒点病、黄斑病、小黑点病	600~800				
りんご	ミカンサビダニ	1,000		30日	3回	
	褐色腐敗病、そばかす病、赤衣病、汚果果症、 チャノキイロアザミウマ、炭そ病(さび果)、幹腐病	600				
	斑点落葉病、赤星病、黒星病、黒点病、 モニア病、すす点病、すす斑病	500~600				
なし	輪紋病	500		21日	3回	5回
	褐斑病、炭そ病	600				
もも	赤星病、黒星病、黒斑病、輪紋病	400~600	45日	2回		
	黒星病、果実赤点病	600				
かき	炭そ病、落葉病、黒星病	400~800	落弁期まで	2回		
	黒点病	400				
ぶどう	晩腐病、褐斑病、さび病、べと病、黒とう病	1,000	45日	2回		
びわ	たてばや病	600	落弁期まで			
マンゴー	炭そ病	800	45日	2回		
あけび(果実)	そうか病	500	60日			
トマト	疫病、葉かび病、輪紋病	800	前日	3回	2回	
きゅうり	炭そ病、褐斑病、疫病、黒星病、つる枯病	600				
		べと病	600~800	仮植栽培期 但し76日	6回	
いちご	じゃのめ病、炭そ病	600				
メロン	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病、斑点細菌病	400~600	7日	7回	5回	
すいか	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病、褐斑細菌病	400~600				
かぼちゃ	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病	600	30日	3回	2回	
キャベツ	べと病	400~600				
はくさい	べと病、白斑病、黒斑病	600	14日	3回	1回	
ねぎ	べと病、さび病、黒斑病					
たまねぎ	べと病、さび病、黒斑病、 灰色腐敗病、灰色かび病	400~600	3日	5回		
	白色疫病	400~500				
にんにく	葉枯病	400~500	7日	3回		
らっかせい	そうか病、褐斑病	400~600	14日			
そらまめ、 未成熟そらまめ	さび病、輪紋病	400~600	30日	4回		
いんげんまめ	炭そ病	600	45日			
だいず	べと病	400	30日	3回		
	紫斑病	400~600				
あずき	茎疫病	400	30日	6回		
	さび病	400				
アスパラガス (露地栽培)	斑点病	500	収穫終了後 但し秋期まで	10回 (無人ヘリ3回)		
	茎枯病、褐斑病	400~600				
ばれいしょ	夏疫病	400~600	7日	25		
	疫病	100				
てんさい	褐斑病	400~600	21日	5回		
		125				
やまのいも	葉疫病、炭そ病	400~600	-	8回	4回	
ばら、きく、 カーネーション	黒星病、さび病、べと病、炭そ病、灰色かび病	400~600				
シクラメン	炭そ病	500	-	1回		
トルコギキョウ	炭そ病	400				
斑入りアマドコロ	褐色斑点病、斑点病	400	発病初期	8回		
ベンジャミン	斑点細菌病	200~700				
すぎ	赤枯病	400~600	-	2回		

※収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる
収穫前の日数と、本剤及びマンゼブを含む農薬の総
使用回数の制限を示す。

*無人ヘリコプター散布については他資料をご参照ください。

登録番号:第22345号

有効成分:マンゼブ…80.0%

性 状:淡黄色水和性粉末

有効期限:5年

■成分について

ジチオカーバメイト系の殺菌剤で広範な糸状菌による植物病害や、一部の細菌病に予防効果を発揮します。

■殺菌作用

複数の殺菌活性作用を持ちます。

- ◎細胞内のエネルギー代謝阻害作用
- ◎必須微量元素との結合による作用

■耐性菌対策

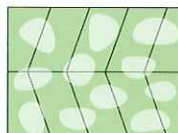
市販以来、国内・海外で耐性菌を生じた事例がありません。耐性菌対策の基幹剤として幅広い分野で活用されています。

■製剤上の特長

製剤粒子の平均粒径は、1~3ミクロン以下。作物への薬剤付着、耐雨性を向上させるため補助成分配合。

●微細な粒子は植物表面にしっかり附着する性質を帯びる

●薬液が乾燥すると、製剤微粒子は幾重もの層になって濃厚に附着



散布・乾燥後(製剤粒子が層になって附着)

▼ 降雨(灌水)



葉斑上から製剤粒子は徐々に溶け出し分散・再固着

▼ 降雨(灌水)



さらに均一な薬剤保護層を形成(降雨のたびに附着量は徐々に減少)→再散布

※植物病害には、降雨(灌水)によって感染を助長するものが数多くあります。降雨(灌水)による製剤微粒子の分散は、感染危険部位の保護に役立ちます。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場等に放置せず、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

製造販売 **ダウ・ケミカル日本株式会社**
ダウ・アグロサイエンス事業部門

本社/〒140-8617 東京都品川区東品川2丁目2番24号
天王洲セントラルタワー <http://www.dowagro.com/jp>
営業拠点/札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

取扱

本資料は2013年10月現在の知見に基づき、作成されています。